



## アクティブ・ラーニング

教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授法のこと。学修者の能動的な学修を通じて認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的な能力育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習などが含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

アクティブラーニング＝グループワークだと思われている場合がありますが、実は数多くの手法・手段があり、ねらい・課題内容・時間・人数・環境などに応じて選択されます。

### 「いろいろなアクティブ・ラーニング」

#### ① Think-Pair-Share

…自分で考える→隣の人と意見交換する→全体で考える。

#### ② ジグソー法

…あるテーマについて複数の視点で書かれた資料をグループに分かれて読み、自分なりに納得できた範囲で説明を作って交換し、交換した知識を統合してテーマ全体の理解を構築したり、テーマに関連する課題を解いたりする活動を通して学ぶ、協調的な学習の1つ。

#### ③ ラウンドロビン

…グループになって順番に意見を述べる。

#### ④ ピアインストラクション

…仲間になった者同士で教え合う(記述、解答の根拠やプロセス)。



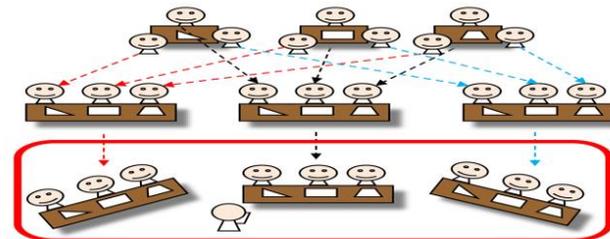
### 「知識構成型ジグソー法とは? What's jigsaw method?」

学ぶとは、人とかがかり合いながら賢さを育て続けること 東京大学CoREFコンセプト

- ・一人では十分な答えが出ない課題をみんなで解こうとしている
- ・課題に対して一人ひとり「違った考え」を持っていて、考えを出し合うことでよりよい答えをつることができる期待感がある
- ・考えを出し合ってよりよい答えをつくる過程は、一筋縄ではいかない
- ・答えは自分で作る、また必要に応じていつでも作り変えられる、のが当然だと思える

こうしたポイントをふまえ、協調学習が起きやすい環境を教室につくりだす1つの手法が「知識構成型ジグソー法」です。

#### 「知識構成型ジグソー法」



### 「第34回すみれ祭 ユネスコスクールブース開催!」

本年4月ユネスコスクール加盟承認を受け、先日第34回本校文化祭の中で初めて、中学生徒会執行部、インターアクトクラブ、そして信州大学留学生の方々のご協力のもと、素晴らしい展示会場ができました。JICA活動パネルの中には、本校OGの活動の様子があり、在校生達が熱心に読んでいた姿が大変印象的でした。また環境省からお借りした日本に2セットしかないという環境紙芝居、ソロプチミスト長野-みずす様よりご提供頂いた環境紙芝居上演会、そしてフェアトレードのお茶試飲会等々、充実した会場となりました。

感想用紙の中に「『今わたしに何が出来る?』の質問に、真剣に考えて答えができました。来年このユネスコスクールブースのお手伝いをさせてください!」来年に向け始動開始!



次号は… 本校の国際デー(国際月間)

教育改善の取り組みの1つとして、文化学園長野中学高等学校では

東京大学 CoREFと連携した**アクティブ・ラーニング**型授業実践

(知識構成型ジグソー法)の推進を行っています。